

ふじさわSDGs共創パートナー取組実績報告書

2025 年度の取組実績を次のとおり報告します。

報告日	2026年6月30日
-----	------------

企業・団体名	AroMama 鵜沼海岸
--------	--------------

No	具体的な取組内容	2026年度の取組予定
1	鵜沼市民センター、湘南T-SITE、本鵜沼市民の家でおゆずりマルシェを実施 ・つくる責任 つかう責任 まだ使えるものを大切に使い続ける文化を育み、廃棄物の削減に貢献します。過剰な生産や消費を抑制し、資源の有効活用を促進しました。 ・気候変動に具体的な対策を 新たな製品の生産に伴うエネルギー消費やCO2排出量を抑制し、地球温暖化対策に貢献しました。	・鵜沼市民センターで実施予定 まだ使えるものを大切に循環させることで活動をさらに深化させます。参加者との関係を深め「もったいない」意識が高まり、リピーターを増やすことで生産に伴うCO2排出を抑制し、地球温暖化対策に貢献します。
2	藤沢市分庁舎1F「ふじさわ子育てメッセ」にて無料のおゆずりマルシェを実施 ・貧困をなくそう 子育てにかかる経済的な負担を軽減し、特に経済的に困難な状況にある家庭の子どもたちが、必要なものを手に入れられる機会を創出しました。 ・質の高い教育をみんなに 絵本やおもちゃを提供することで、子どもたちの学びの機会を豊かにし、創造性や知的好奇心を育みました。	・鵜沼市民センター（一部無料）、藤沢市分庁舎「ふじさわ子育てメッセ」にて実施予定 子育てにかかる経済的な負担を軽減し、必要なものを手に入れられる機会を創出します。さらに絵本やおもちゃを継続的に提供することで、子どもたちの創造性や知的好奇心を育みます。
3	鵜沼市民センター、湘南T-SITE、本鵜沼市民の家において「おゆずりマルシェ」を実施しました。 パートナーシップで目標を達成しよう（多角的な連携の構築） 地域住民、子育て支援団体、民間企業、および行政との強固な連携体制を構築しました。多様な主体が協力し合うプラットフォームを形成することで、活動の認知度を高め、単独組織では到達できない広範な地域支援と、持続可能な社会貢献の波及効果を生み出しました。	従来の活動拠点に加え、今年度は新たに「鵜沼海岸商店街振興組合 鵜の宵まち市」との協働を予定しています。 パートナーシップによる社会的価値の最大化 行政、民間企業、市民に加え、新たに地域商店街を交えた多角的なネットワークを構築します。商店街という地域コミュニティの核と連携することで、活動の認知度をさらに広げ、地域全体で支え合う社会貢献活動の波及効果を最大化してまいります。